

夫婦二人三脚で栄誉

元教諭の森教二さん・勝代さん

キワニス賞

民間の社会奉仕団体「和歌山キワニスクラブ」（坂本暁史会長）は、子どもたちの社会貢献活動に献身的に取り組んでいる個人や団体を奨励する「第28回キワニス賞」に2人を選定。23日、和歌山市の森教二さん（80）と勝代さん（76）夫婦を表彰した。

2人はともに元小学校を訪れ、子どもたち学校教諭で、教二さんにマジックの面白さは伝える活動を「和歌山マジッククラブ」の会長の務め、ボランティアで保育所や小学

山のお手玉の会・なこの会」代表と、図書館おはなしボランティア「コスモス」の代表も務め、夫婦の代表も務め、夫婦で紙芝居のボランティアも行って

2人は最後に出席者の前で、お手玉とマジックを披露し会場を盛り上げた。



表彰状を手に記念撮影



お手玉を披露する勝代さん



マジックを披露する教二さん

2022年（令和4年）8月25日（木曜日）

手渡した。

本会長が「2人が教職引退後もそれぞれの子どものための『育ち』に関わる活動を長年続けて来られたことに敬意と称賛を贈りたい」とあいさつ。教二さんと勝代さんそれぞれに表彰状と支援金10万円を

教二さんは「この活動は私の健康と生きる意欲の源。これからもずっと夫婦で子どもを育てる活動を続けていきたい」と話し、勝代さんは「たかがお手玉、さ

れどお手玉、さすがお手玉。子どもたちが反応したり、感動したりしてくれると、とてもうれしく

て私も元気をもらっている。これからもお手玉、本や紙芝居の魅力を伝え続けていきたい」と笑顔で受賞を喜んだ。